

教科	家庭	科目	家庭基礎	履修学年	2年
単位数	2単位	科	全学科	担当者	深渡直子

教科・科目の 目標	<p>工業高校である本校の教育目標を軸として、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人と協働し、より良い社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を育成することをめざす。</p> <p>生活技術力・表現力・創造意欲の向上を目指し、生きる力の育成をめざす。</p>
使用教科書 ・教材等	教科書 「家庭基礎」 東京書籍
評価の観点 と その方法	<p>〈評価の観点〉</p> <p>「知識および技能」：生活を主体的に営むために必要な基礎的内容について理解し、それらに係る技能を身につけている。</p> <p>「思考力、判断力、表現力」：生涯を見通して家庭や地域・社会における生活の問題点を見だし、課題を設定し、解決する力を身に付けている。</p> <p>「主体的に学習に取り組む態度」：様々な人と協働し、より良い社会の構築に向けて、自分や家庭、地域の生活を創造し実践しようとしている。</p> <p>以上を観点として評価する。</p> <p>〈評価の方法〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期考査、小テスト、実験・実習等実践レポート、実習の作品、毎授業での提出物、授業時の観察で総合的に判断する。
学習方法・ 学習形態	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートを用い、基礎的な知識と技術の習得に取り組む。 ・被服、調理、保育等の実験・実習・製作はグループ学習を実施する。 ・ホームプロジェクトなど休暇中の課題に取り組み、発表や討論を行う。
履修者への メッセージ	<p>授業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・積極的に授業には参加し、授業プリント、レポート、作品等の提出物は必ず提出すること。 ・授業を欠席した場合も、後日小テストの再受験、提出物の提出を行うこと。 ・実験、実習は器具等の取り扱いを慎重に行い安全に正確に行うこと。

令和6年度学習進度予定表

期	月	学 習 項 目	学 習 内 容	到 達 目 標
一学期	4月	オリエンテーション 【生涯を見通す】 〈青年期の課題〉	一年間の学習内容を理解する。 SDGSについて理解する。 青年期とは一生の中でどうい う時期か、この時期における生 き方や、さまざまな家族のかた ちについて考える。	コミュニケーションの大切さ を理解する。自分にできる持続 可能な目標を考え、実践してい く。 家族の役割や家族に関わる法 律について理解する。
	5月	自分らしい生き方・家族につ いて 「人生100年」時代を生き る		
	6月	【衣生活をつくる】 被服の役割を考える 高校生と衣生活 被服の保健衛生的機能 被服管理、再資源化	各ライフステージに適した衣 服の役割、適切な着装、衣生活 の管理について考えを深める。 衣服の購入から廃棄、環境との かかわりなど考え、工夫してい く力を養う。	被服材料の特徴や種類につい て理解する。 日常生活における被服の選択 や管理に活用できる知識・技術 を身につける。
	7月	【ホームプロジェクト】	自ら問題点を見つけ出し、解決 策を考える能力を養う。	期末考査
夏季休業				
二学期	9月	【被服実習】 作品製作	基礎的な裁縫を行う。	手縫いの基礎技術を習得する。
	10月	【子どもと共に育つ】 青年期の責任 母体の健康管理 子どもの育つ力 これからの保育環境	子どもの育つ力と発達段階を 知る。 遊び、基本的生活習慣の形成、 食事、健康管理について学ぶ。 子どもの愛着の形成と親とし ての成長を理解する。	家庭保育・集団保育、子育ての ための社会的支援について理 解する。
	11月	【食生活をつくる】 青年期の食生活と課題 食事と栄養・食品 食品の選択と安全 調理の基礎 テーブルマナー	自分自身の食事について現状 を把握する。 食品衛生と安全性について考 え、基礎的な調理の基礎知識と 技術を学ぶ。	日常の食生活を振り返り、改善 点を考える。 食品の栄養的特徴を理解する。 マナーを守って食事をするこ とができる。食糧問題に関心を もつ。
	12月	【調理実習】 調理実習 【超高齢社会を共に生きる】 少子化・高齢化の進行 高齢期の健康と自立 誰もが暮らしやすい社会	包丁の持ち方、切り方、計量の 仕方を理解する。 高齢社会の現状と問題につい て把握する。高齢者の生活を理 解し介助の知識を身につける。	調理の基礎を理解し、基本的な 調理ができるようになる。 高齢者を支える家族の役割、福 祉サービス、福祉施設等につい て理解する。 期末考査
冬季休業				
三学期	1月	【共に生き、共に支える】 私たちの生活と福祉 【経済生活を営む】 情報の収集・比較と意思決定 消費者の権利と責任	社会保障制度や社会福祉、地域 社会の役割を理解する。 成年年齢の引き下げにより契 約の重要性をより深く理解し、 自立した消費者となれるよう 知識を身につける。家計、家計 資産のマネジメントを理解す る。	高齢者を取り巻く社会環境を 理解し、生涯を通して家族・家 庭を支える社会的支援の知識 を得る。 消費者の権利を理解し、自覚を 持って責任ある行動をとれる ようになる。
	2月	【持続可能な生活を営む】 これまでの世界と日本の取 り組み		これからの自分に何ができ るか、何をしていくべきかを考 える。
	3月			学年末考査
春季休業				